

桜の花に似た梨の花が満開に

梨の受粉作業始まる！

【4月5日（水）／安城市内で受粉作業風景を紹介します】

J Aあいち中央梨生産部会（部会長：寺島正憲）は、4月上旬から安城市内の梨園で、「愛甘水」の受粉作業を行います。枝を支える「タナ」が格子状に梨園全体に張られており、梨はこのタナに沿って、桜に似たかわいらしい花をつけます。



桜に似た白い花が咲きます

部会では、7月下旬から「愛甘水」の収穫が始まり、主力品種の「幸水」は、8月上旬から本格的に収穫が始まります。「幸水」は生産量の55%を占める主力品種。部会では計6品種を栽培し、「安城梨」として出荷しています。安城市は、明治時代から続く県内有数の梨産地。近年では、部会生産者が早生品種「愛甘水」と「甘ひびき」を育成・品種登録するなど、品種改良にも精力的に取り組んでいます。



梨の受粉作業

受粉作業では、梵天（ぼんてん）や花粉交配機という道具を使い、雌しべに花粉をつけていきます。一部では、受粉作業と併せてミツバチを使うことで、確実に結実につなげています。また、受粉作業で使う花粉は、花粉を取るためだけに栽培している品種のものです。

梨の受粉には気温が15℃以上必要なため、作業は天気が良く、風が弱い日を選んで行います。

J Aあいち中央梨生産部会

- 部 会 員：80人 ■栽培面積：34.6ヘクタール
- 出荷時期：主力品種の「幸水」は8月上旬から中旬（お盆前後）まで
- 総出荷量：約170トン ■流 通 先：中京市場中心



《メディア対応日》

- 日時：2023年4月5日（水）／午後2時00分
- 場所：J Aあいち中央安城北部営農センター（安城市東栄町4-5-15）
- ※当日は、圃場で花粉交配機による受粉作業する様子を紹介します。
- ※天候等により、日時・場所が変更になる場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL:0566-73-5504／携帯:080-3667-3853／E-mail:kouhou@jaac.or.jp